

第1回和光市広沢複合施設整備・運営事業者審査委員会 議事録

1 日時、場所

日時：平成30年3月20日（火）午後1時00分～午後3時00分

場所：和光市総合児童センター2階集会室

2 出席者

【委員】安登委員長、小川副委員長、亀井委員、齋藤委員、橋本委員（以上5名）
（欠席 倉斗副委員長）

【事務局】和光市企画部資産戦略課

【アドバイザー業務委託事業者】パシフィックコンサルタンツ株式会社

3 議事

(1) 委員会運営について

- ・事務局より委員会は非公表とし、民間事業者との契約締結後に審査講評を公表する旨を説明。

(2) 実施方針（案）・要求水準書（案）について

■ コレクティブインパクト・リスト

- ・コレクティブインパクトは本事業の重要な考え方の一つ。参加資格要件だけでなく、事業者にも目指して欲しい旨を記載しておくべき。
- ・コレクティブインパクト・リストは、和光市内に制限してしまうと縮小傾向になる。和光市以外でも関心をもつ団体があるかもしれない。子どもの発達を促す知見・経験を持っている方が来ていただける仕組みとしてもよいのではないか。

■ プレゼンテーション・ヒアリング

- ・話す時間をとることで、提案者の意図を伝えてもらう。質疑応答の時間をしっかりとることで、プレゼンテーションが上手いところの評価があがるということではなくなる。
- ・最近の案件ではプレゼン15分、事前質問に対する回答20分、質疑は30分だった。これぐらい時間をとれば、言いたいことをいってもらえて、質問も十分にできる。

■ 多世代交流

- ・多世代交流と謳っているが、和光市は包括的に子育てと高齢者の自立を同じレイヤーで考えている自治体である。マイノリティーを狙ったためにマイノリティー以外が来にくくなる施設としないようにしたい。
- ・支えあう循環の仕組みをいれていただきたい。高齢者が優れている点もあるため、高齢者が学んで何かをやれるような仕組みが欲しい。

以上